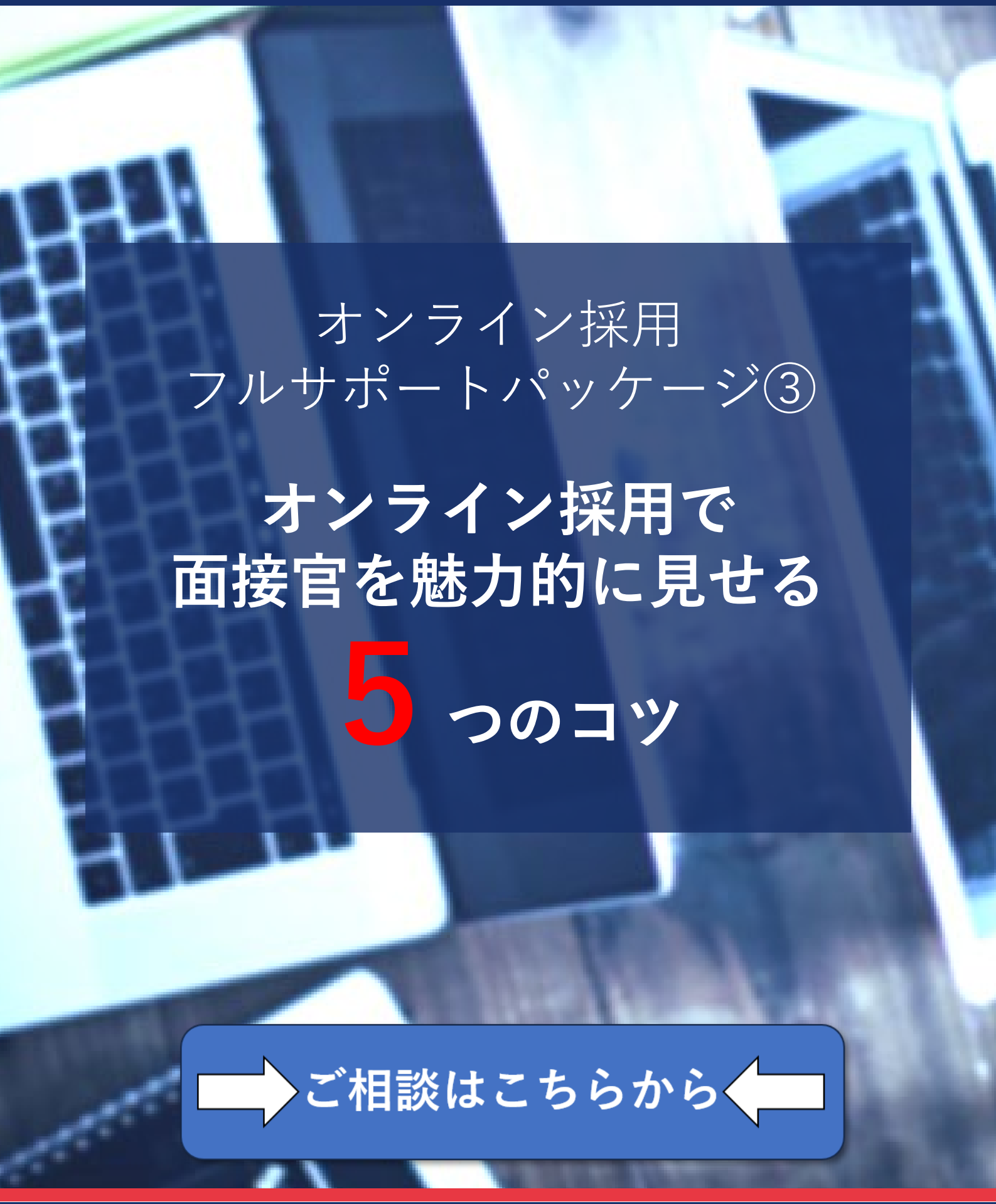

オンライン採用
フルサポートパッケージ③

オンライン採用で
面接官を魅力的に見せる
5つのコツ

ご相談はこちらから

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

オンライン採用
フルサポートパッケージについて

オンライン採用フルサポートパッケージを提供する株式会社ジェイックでは、中堅中小企業を対象に、採用支援・社員研修のサービスを提供しています。

ジェイックのサービス一覧はコチラ

オンライン採用フルサポートパッケージは、これからオンラインでの採用活動に取り組まれる企業、オンライン採用の質を向上させたい企業を対象に、押さえておくべき９個のテーマをレポート形式で、完全無料で提供します。

【オンライン採用 フルサポートパッケージ 一覧】

追加でダウンロードしたいタイトルをclickしてください

①オンライン採用に**必要なデジタル機器**リスト

②web面接のトラブルを激減できる**事前案内**とトラブルシューティングのポイント

③オンライン採用で**面接官を魅力的に見せる**５つのコツ

④オンライン面接の**印象が良い会社／悪い会社 違い**が生まれる原因は？

⑤**オンライン面接の進め方**マニュアル

⑥オンライン採用での**見極め** ５つのポイント

⑦オンライン採用で人材を**魅了付け**する５つの秘訣

⑧オンライン**会社紹介**７つのコツ

⑨オンライン**会社紹介 Sample＆テンプレート**

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

【事前準備編】

■A.明るさ

Web面接で「顔が暗い」と、応募者からの印象を致命的に悪くします。
以下のポイントに注意して、映り具合を事前に確認・調整しましょう。

[原則]

・なるべく明るい部屋を選ぶ

⇒窓が多く光が差し込む部屋、顔にきちんと照明が当たる部屋を選ぶ

⇒光源が不足するときは、パッケージ①「オンライン採用に必要なデジタル機器リスト」で紹介したライトを準備してください。

・カメラ側に光源（照明や窓）があるレイアウトにする

⇒自分の背中に光がある状態だと、逆光で表情が見えなくなります。

逆光

カーテンを閉めるだけで…

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

【事前準備編】

■B.カメラの高さ

好印象を与える上でカメラを「目線の高さに設置する」ことが大切です。
ノートパソコンの付属カメラを使う場合を、イメージしてください。
机の上に普通にノートパソコンを置いた状態はと、画面・カメラを
斜め上から見下ろす状態になります。

このレイアウトでカメラへの映ると、応募者からは“上から見下ろさ
れた”印象になり、あまり好印象にはなりません。ニュース番組や
バラエティーをイメージしてみてください。カメラは基本的に目線の
高さから撮影しています。それが一番自然（違和感のない）な高さです。

調整は簡単で、ノートPCの下に段ボールや本をおいて、
「カメラが目線の高さ」にくるように調整するだけです。
これだけで印象が変わります。

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

【立ち居振る舞い編】

■C.丁寧なアイスブレイク

Web会議や商談の傾向として、
慣れないうちは、雑談が生じず
すぐ本題に入る傾向があります。

Web面接も同様です。

対面での面接でも、冒頭で天気や来るまでのルート等のちょっとした雑談によって、場の空気や相手の緊張をほぐすと、面接がスムーズに運びます。このアイスブレイクがWeb面接では特に重要です。

対面での面接と比べると、Web面接では相手の表情や感情の機微が、捉えづらくなります。意図的に場を和ませて、相手の表情や素が出やすい環境を作りましょう。

はじめに、相手の面接環境やweb面接の経験など、“応募者が答えやすい”質問をしたり、面接官のの環境や状況を話すことが効果的です。もちろん履歴書等で確認した出身や趣味等に関する“共通項”などもおススメです。

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

【立ち居振る舞い編】

■D.表情やボディーアクション

Web面接だと、相手の表情や感情の機微が捉えづらいのは、応募者から面接官を見た時にも同様です。

対面でも「相手が能面のように無表情で、聞いているかいないか分からない」と喋りづらいものです。Web面接では、こちらは、“普通に聞いている”つもりでも、応募者から見ると仏頂面、無表情に見えがちです。面接官が、意図的に表情を大きく作ったり、頷く、首を振る、手でＯＫサインを出すなどのリアクションを取ると、応募者が話しやすくなり、同時に応募者に好印象を与えます。

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED

【立ち居振る舞い編】

■E.テンションや話のリズム

弊社では、ウェビナーの場合、参加者にうまく伝えるためには、
「いつもの1.5倍のテンポとテンションで喋る」と決めています。

Web上でのやりとりは、視覚で伝わる情報量が少なくなり、
音声が占めるウェイトが大きくなります。従って、淡々と抑揚のない
話し方をすると、非常に聞きづらく、また集中を妨げます。

視聴数の多い人気Youtuberの動画などを見ると、普通の会話と比べて,
話のテンポが早く、言葉の「間」を削っていることが分かります。

会社説明などをする際には、テンションをいつもの1.5倍、そして、
声のテンポ、抑揚を意識して喋ると応募者に伝わりやすくなります。

なお、話すテンポをあげる分、相手の
理解度を確認する質問やQ&Aなどを、
対面の時よりも小まめに入れるのも
ポイントです。

株式会社ジェイック ALL RIGHTS RESERVED